

四季折々の  
自然豊かな風土

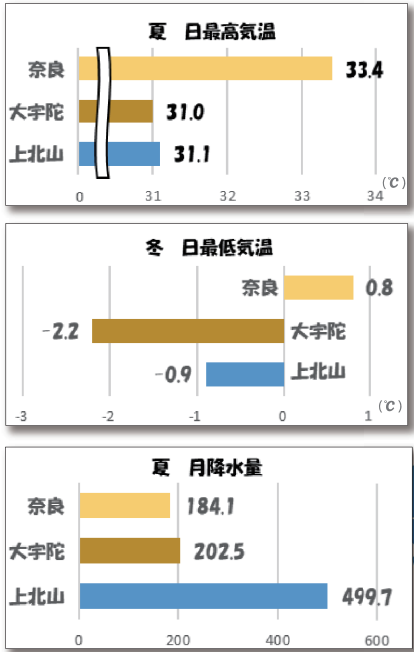
奈良県は、日本のほぼ中央部・紀伊半島の真ん中に位置し、  
周辺を山岳に囲まれた内陸県です。面積は3,690.94km<sup>2</sup>で、  
全国的には40番目にあたり、国土の約1%です。



※その他には、原野、道路（一般道路・農道・林道）、水面・河川・水路等が含まれる。  
出典：国土地理院ウェブサイト <https://maps.gsi.go.jp/vector/> をもとに奈良県作成  
奈良県国土利用計画、令和3年土地利用現況把握調査

地域で異なる  
『奈良県』の気候

本県の気候は概ね温暖ですが、紀の川を境として、南部は山岳で占められ山岳性気候、北部は盆地で内陸性気候です。東部山地は内陸性気候と山岳性気候の特徴を兼ねています。



コラム 奈良県内の土木遺産

① 谷瀬の吊り橋

安全安心を希求する住民の思いにより建設され、その後60年以上にわたり供用

② 生駒鋼索線と生駒山上遊園地

わが国私鉄に見られる観光施策を証示する最古の施設であり、先例のない中で独自に開発

③ 関西本線三郷～河内堅上間橋梁群

大規模な地すべり地を迂回するために特異な架構形態を採用した希少な鉄道構造物

④ 奈良市 水道関連施設群

意匠的特長に富む高地区配水池、奈良阪計量器室などいずれも創設時の姿を残す

⑤ 旧国鉄五新線（未成線）鉄道構造物群

紀伊山地を鉄道で貫く大構想に駆けた先人の志を未来に語り継ぎ、沿線住民にも親しまれている

⑥ 百寿橋

地元住民の寄付を受け、郡山城中堀に架けられたRC橋で、特徴的な高欄等を有する

⑦ 薬水拱橋

独特の扁額や煉瓦による格子帯に意匠面の工夫を施し、壁柱にバットレス補強された鉄道橋

⑧ 旧奈良駅舎

和洋折衷の帝冠様式を持ち、近代の鉄道事業と市民、ひいては多くの工学分野を結ぶ象徴的な役割

土木学会選奨土木遺産とは  
公益社団法人 土木学会が土木遺産の顕彰を通じて歴史的土木構造物の保存に資することを目的として、平成12年に認定制度を設立しました。



▲土木遺産の詳細はこちら  
出典：土木学会ホームページをもとに奈良県作成